

2008. 1. 30

佐川克弘

## 京都府の天ヶ瀬再開発撤退論の補足説明

私は先に京都府と大阪市の水利権を交換し、同時に京都府は天ヶ瀬再開発から撤退すべきと提言しましたが、その後の意見書「『空気』も売っている京都府営水道」も含め現状の水余りの説明のみで、将来需要予測との関係が説明不足でした。ここに補足説明いたしますのでよろしくご検討ください。

### 1) 京都府の水需要予測（H32年度）

人口・・・・・・・・・・669,010人  
 一日最大給水量・・・・・・・・308,857m<sup>3</sup>  
 一人一日最大給水量・・・・・・・・462リットル  
 府水一日最大給水量・・・・171,800m<sup>3</sup>

※添付資料「京都府10市町の水道事業の現況一覧表」と比較して下さい。

### 2) 京都府の水源計画と佐川私案との比較

単位：m<sup>3</sup>

|         | 宇治     | 木津     | 乙訓     | 合計      |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| (A) 京都府 | 72,000 | 72,000 | 68,800 | 212,800 |
| (B) 佐川案 | 70,800 | 48,000 | 46,000 | 164,800 |
| (A-B)   | 1,200  | 24,000 | 22,800 | 48,000  |

### 3) H32における過不足

京都府の需要予測（171,800m<sup>3</sup>）に対して佐川案は164,800m<sup>3</sup>だから7,000m<sup>3</sup>不足となる。しかしこの不足量は一人一日当たり10.5リットル節水すればクリアできる量と考えます。

他方京都府の計画では41,000m<sup>3</sup>も水余りとなり、金利は別としても天ヶ瀬再開発参画に伴う40億円前後の新たな負担が生じ、その負担は結果として府民の水道代の増加となるでしょう。

### 4) 水増しが目立つ京都府水需要予測

ここで京都府の水需要予測の妥当性をみておきます。第一に人口予測について国立社会保障・人口問題研究所の近畿2府4県の人口予測と、京都府の予測との比較を別表に示します。要するに国立研究所は人口は今後減少するとしているのに対して、京都府は2015年まではまだまだ増えるというのです。

人口予測比較表 単位：2府4県=千人、京都府=人

|            | 国立研究所        | 京都府            |
|------------|--------------|----------------|
| 2003 (H15) |              | 641,951(100)   |
| 2005 (H17) | 20,893(100)  |                |
| 2010 (H22) |              | 662,815(103.2) |
| 2015 (H27) | 20,577(98.5) | 671,251(104.6) |
| 2020 (H32) |              | 669,010(104.2) |
| 2025 (H37) | 19,578(93.7) | 659,296(102.7) |
| 2035 (H47) | 18,147(86.9) |                |

有収率、負荷率については専門的なので割愛するが、いずれも（意識的としか思えない程）水増しされていて、その結果は一人一日当たり給水量に反映されます。H13=456、H14=415、H15=411、H16=404、H17=396リットルと実績は確実に減少傾向なのに、京都府はH32に462リットルになると言うのです。これは文字どおり「水増し予測」そのものと断言できます。

もちろん水需要予測はある程度安全性を見込む必要があるでしょう。私個人としては府水の需要量は一日最大135～145千 $m^3$ （人口は62万人、一人一日最大給水量はアマイかもしれないが420リットルとする）と考えています。なお高槻市水道部の一人一日最大給水量H18実績は346リットルです。高槻市民から見ると佐川予測は甘すぎると叱られるかもしれません。

以上

#### 追記 朝令暮改の京都府予測

本文で検討した京都府の水需要予測はH16.10に策定されたものですが、そのわずか3年前（H13.6）にも需要予測が行われています。それは京都府営水道事業経営懇談会（座長 浜崎正規氏）の「第5次提言」という形式をとっていますが、事実上は事務局（京都府）がお膳立てしたものを「懇談会の提言」という形式に整えたに過ぎないと思われまます。

わずか3年で予測がどのように変わったか比較表をご覧ください。

#### H32における予測値

|           | H13予測   | H16予測   |
|-----------|---------|---------|
| 人 口       | 697,000 | 669,010 |
| 一日最大給水量   | 348,600 | 308,857 |
| 一人一日最大給水量 | 500     | 462     |
| 府水一日最大給水量 | 204,500 | 171,800 |

## 京都府10市町の水道事業の現況一覧表

出典：京都府統計書

「公営企業の概要」

|                          | H 1 3   | H 1 4   | H 1 5   | H 1 6   | H 1 7   |
|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 給水人口(人)                  | 627,909 | 630,192 | 634,840 | 639,263 | 641,591 |
| 一日最大給水量(m <sup>3</sup> ) | 286,348 | 262,261 | 260,808 | 258,366 | 254,149 |
| 一日平均給水量                  | 225,413 | 223,157 | 221,690 | 222,164 | 220,465 |
| 負荷率(%)                   | 78.7    | 85.4    | 85.0    | 86.0    | 86.6    |
| 府水の<br>一日最大受水量           | 135,463 | 137,357 | 144,016 | 142,667 | 138,194 |
| 府水の<br>一日平均受水量           | 106,542 | 104,988 | 107,792 | 110,633 | 110,758 |
| 府水の寄与率                   | 47.3    | 47.0    | 48.6    | 49.8    | 50.2    |
| 一人当たりの<br>一日最大給水量(L)     | 456     | 415     | 411     | 404     | 396     |
| 一人当たりの<br>一日平均給水量        | 359     | 354     | 349     | 348     | 343     |